

## Realtime CPU Scope WAVE2 (SH7211 版/V850IG3 版)に関する 不具合のお知らせ

Myway プラス株式会社  
〒222-0033 横浜市港北区新横浜 1-14-15  
TEL.045-476-3732 FAX.045-476-3723  
<http://www.myway.co.jp/>  
E-mail: [sales@myway.co.jp](mailto:sales@myway.co.jp)

拝啓

貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より格段のご愛顧を賜り深謝申し上げます。

このたび弊社製品 Realtime CPU Scope WAVE II において、以下の不具合が確認されました。

- ①SH7211 用システムで波形表示ができない場合がある。
- ②V850IG3 用システムでクロック設定ができない。または、波形表示できない。

Realtime CPU Scope WAVE II をご利用のお客様にはご迷惑をおかけして誠に申し訳ありませんが、下記をご確認の上、バージョンアップをご検討くださいますようお願い申し上げます。

敬具

－ 記 －

### 【対象製品およびバージョン】

本ドキュメントの情報は以下の弊社製品を対象としています。

- ・ Realtime CPU Scope WAVE II ver.1.3 および、それ以前のすべての全バージョン。  
出荷されている全バージョンが該当します(2010/02/25 現在)。

バージョンの確認は以下の表に従い、インストール CD に記載されているドキュメント番号で確認して下さい。

ドキュメント番号	バージョン
06642-E2-002B	1.1
06642-E2-002C	1.2
06642-E2-002D	1.3

### 【不具合内容①】

<発生条件>

- ①SH7211 用に本システムをお使いのお客様。

②本システムには、WAVE2 ユニットと、ターゲット CPU 間の通信パラメータを自動設定する機能がついていますが、その機能を使用して通信パラメータを更新した場合。

### <現象>

本不具合は PC と、WAVE2 ユニットが通信できているにもかかわらず、波形取得を行おうとしても一定値のまま波形として表示されないものです。

### <原因>

通信ディレイを自動検出する機能が実装されていなかったため。

## 【不具合の恒久回避方法①】

新しいバージョンのシステムをインストールしていただき、そこで展開されるアセンブラコード(3wwlib.src)を組み込んで下さい。

## 【不具合内容②】

### <発生条件>

- ①V850IG3 用に本システムをお使いのお客様。
- ②本システムで  $f_{CLK}$  として、64MHz 以外の設定を行っている場合。

### <現象>

本不具合は `watch_init()`の実行と、お客様が設定されるクロックの順番により発生するものです。

お客様所望のクロック設定後に `watch_init()`を実行すると、その設定が無効になってしまう。  
また、`watch_init()`実行後にお客様がクロック設定を行った場合、波形表示ができなくなる場合がある。

### <原因>

Ver1.3 以前の `watch_init()`は、内部でクロック設定( $VSWC=0x13, f_{CLK}=64MHz$ )を行っており、本設定は WAVE 機能を使用する際に、必須の設定となっています(特に  $f_{CLK}=64MHz$ )。

しかし、本来、クロック設定はお客様のアプリケーションが必要とするものを設定すべきであり、この動作は本来の機能としてはすぐわないものです。

## 【不具合の恒久回避方法②】

新しいバージョンのシステムをインストールしていただき、そこで展開されるアセンブラコード(`_mwwave.s`)を組み込んで下さい。

この組み込みにより、ピン割り当てのみを行い、VSWCの設定を含め、余計なクロック設定は行われなくなります。お客様が所望されるクロック設定を行って下さい。

ただし、WAVE 機能を使用される際は、 $f_{CLK}=64\text{MHz}$  の設定は必須ですので、ご了承願います。

入カクロックに 8MHz を使用した場合(PLL モード(x8)、一週倍(x1))の設定例を以下に示します。setupClock()を実行すると WAVE が機能する設定となります。

```
void setupClock(void)
{
    do {setupPLL();} while (! ((PLLCTL) & (1 << 1)));
#pragma asm
    push    r10
    mov     0, r10
    st.b   r10, 0xfffff1fc[r0]
    st.b   r10, 0xfffff828[r0]
    nop
    nop
    nop
    nop
    nop
    pop     r10
#pragma endasm
}

void setupPLL(void)
{
#pragma asm
    push    r10
    mov     3, r10
    st.b   r10, 0xfffff1fc[r0]
    st.b   r10, 0xfffff82c[r0]
    nop
    nop
    nop
    nop
    nop
    pop     r10
#pragma endasm
}
```

ご不明な点は弊社の営業担当までお問い合わせくださいますようお願い致します。

以上

### ご注意

1. 本資料に記載された製品の仕様は、予告なく変更することがあります。
2. 本資料の内容については、万全を期しておりますが、万一ご不明な点などがありましたら、弊社までお申しつけください。
3. 本資料に記載された情報に起因する損害または特許権その他権利の侵害に関しては、弊社は一切の責任を負いません。
4. 本資料によって第三者または弊社の特許権その他権利の実施権を許諾するものではありません。
5. 弊社の書面許諾なく、本資料の一部または全部を無断で複製することを固くお断りします。
6. 本資料に記載された製品をユーザ装置に組み込む際には、バックアップやフェイルセーフ機能を系統的に設置してください。
7. 弊社は、人命に関わる装置として特別に開発したものは用意しておりません。
8. 本資料に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright 2010 by Myway Corporation  
All rights reserved. No part of this manual may be photocopied or reproduced in any form or by any means without the written permission of Myway Corporation.